

海洋観測

1月24日 12:00より海洋観測が始まりました。海洋観測は00:00、06:00、12:00、18:00に観測し5日間連続で行います。

専攻科生がASTDという機械を水深1050mまで下ろし海水温と塩分濃度を計測します。本科生は表面水温と透明度板で海の透明度を計測します。

船橋では専攻科生が本科生に操舵号令を発し、風を右舷から受けるように船体を停止させ海洋観測の準備を行います。毎回異なる気象海象に四苦八苦し、時には失敗して友達と研鑽を重ねながら操船術を学んでいます。

海洋観測が終わるといよいよ操業が始まります。専攻科生にとって最後のマグロ操業です。前航海の経験を活かして積極的に行動しより良い思い出となるよう楽しみつつ、安全第一で頑張ってください。

